

## 集会アピール（案）

いま、子どもたちを取り巻く環境は、ますます厳しくなっています。

日本の社会における貧困の格差が広がり、貧困状態におかれた子どもたちは居場所をなくし社会から孤立しています。そして、貧困層の家庭の子どもたちが、また貧困に陥っていく、いわゆる「貧困の連鎖」が深刻な問題となっています。

すべての子どもたちは、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける権利を有しています。その権利は、親の経済力などによって左右されてはならないものです。

生まれ育った環境にかかわらず、すべての子どもたちが夢をもち、安心して成長できる環境を整えてあげることが、親個人の責任ではなく社会全体の責任です。

私たちはその責任を自覚し、「貧困の連鎖」を断ち切り、すべての子どもたちに夢のつづきを与えられるよう、共につながり、貧困と格差の解消を目指していくことをここに決意します。

2015年9月19日

反貧困キャラバン福井2015・集会参加者一同